

ウ 地下水

多摩市及び稲城市の地下水の用途別平均揚水量は表 8.1-11 に、観測井の地下水位の変動量は表 8.1-12 に、観測井位置図は図 8.1-10 に示すとおりです。

多摩市及び稲城市では、地下水を上水道や工業用水等に利用しています。平成 24 年から平成 28 年までの過去 5 年間の全揚水量をみると、多摩市及び稲城市では平成 26 年に揚水量が最大となり、それ以降減少傾向が見られます。特に、稲城市における上水道の揚水量が大きく減少しています。

表 8.1-11 1 日当りの用途別平均揚水量

(単位：m³/日)

市名	項目	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	
多摩市	全揚水量	3,730	3,856	4,689	3,678	3,666	
	用途	工場	49	41	58	56	55
		指定作業場	2,023	2,113	2,158	2,283	2,038
		上水道	1,505	1,620	2,374	1,227	1,494
		その他	153	82	99	112	79
稲城市	全揚水量	8,720	7,801	9,147	7,442	5,561	
	用途	工場	3,213	3,395	3,556	3,334	3,669
		指定作業場	1,253	1,308	1,356	1,455	1,365
		上水道	4,223	3,043	4,165	2,600	481
		その他	31	55	70	53	46

注) 全揚水量は工場、指定作業場、上水道及びその他の合計です。

資料：「平成 28 年 都内の地下水揚水の実態(地下水揚水量調査報告書)」(平成 30 年 3 月 東京都環境局)

地下水位の観測井の「新多摩」は近年、観測可能標高値を超えて自噴していることが確認されています。「稲城」は上下動を繰り返しており、近年は T.P. 30m 前後で推移しています。

表 8.1-12 観測井の地下水位

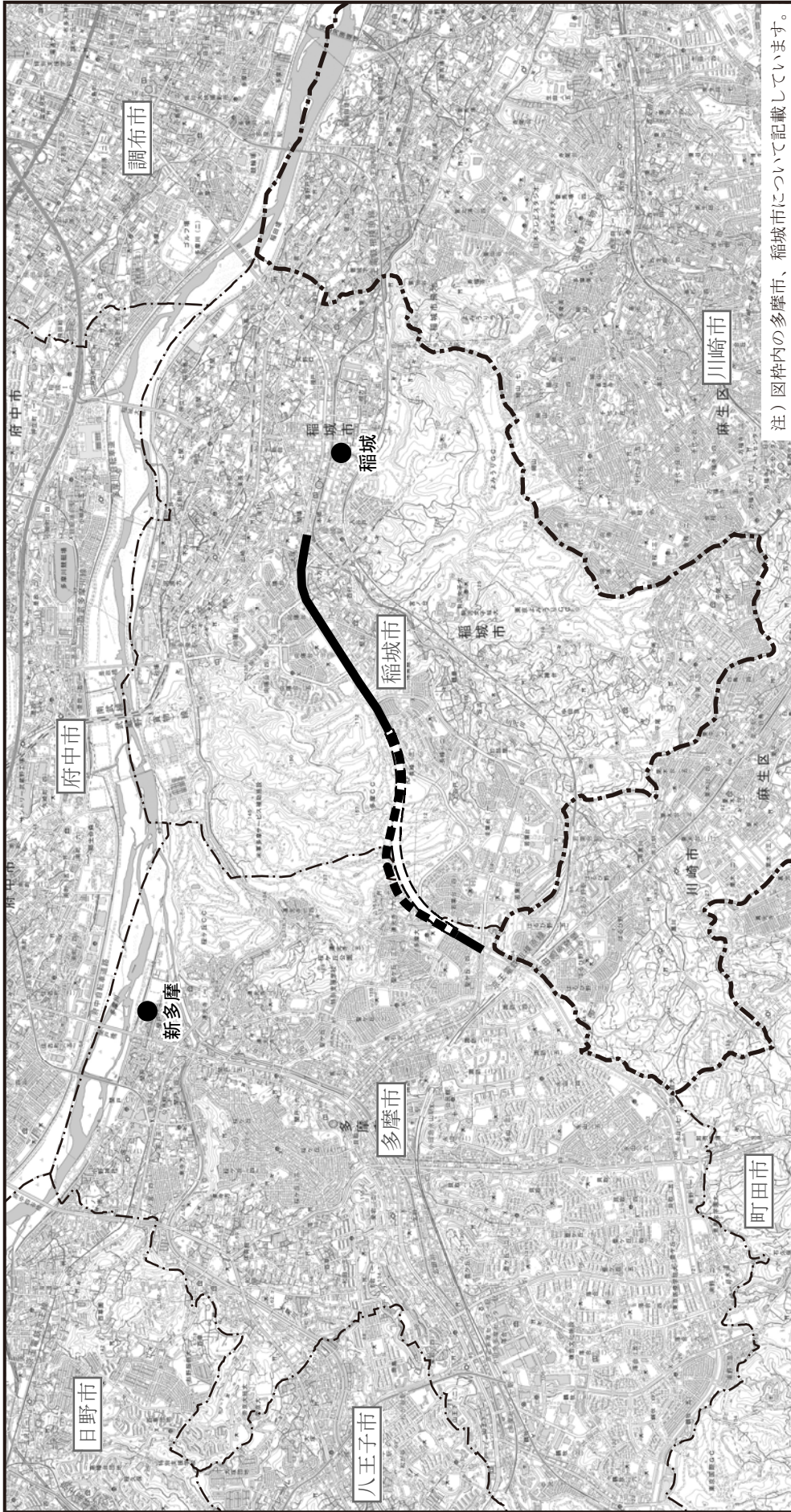
(単位：T.P. m)

市名	観測井名	観測井付近の地盤高	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
多摩市	新多摩	49.5	50.81+	50.81+	50.81+	50.81+	50.81+
稲城市	稲城	36.7	27.71	27.40	34.05	28.06	28.77

注 1) 地下水位は各年 12 月 31 日の日平均地下水位です。

注 2) 多摩市の地下水位(50.81+)は、観測可能標高値(50.81m)を越えて自噴していることを示しています。

資料：「地盤沈下調査報告書」(平成 25 年～平成 29 年各年版 東京都土木技術支援・人材育成センター)



注) 図枠内の多摩市、稲城市について記載しています。

凡例

- 計画道路
- 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- 都県界
- 市界
- 観測井



図 8.1-10 観測井位置図

資料：「平成 29 年地盤沈下調査報告書」(平成 30 年 7 月 東京都土木技術支援・人材育成センター)